

取扱い方法

ゼプリオンTRI®

12週

12週ごとに投与する



シリンジを15秒以上
激しく振盪する

ゼプリオンTRI®は筋肉内
注射のみに使用すること。

【監修】

徳島大学大学院医歯薬学研究所 看護学系
看護管理学分野 教授 谷岡 哲也
同 准教授 安原 由子

ゼプリオンTRI®を使用する際には、必ず
本取扱い説明書をお読みください。

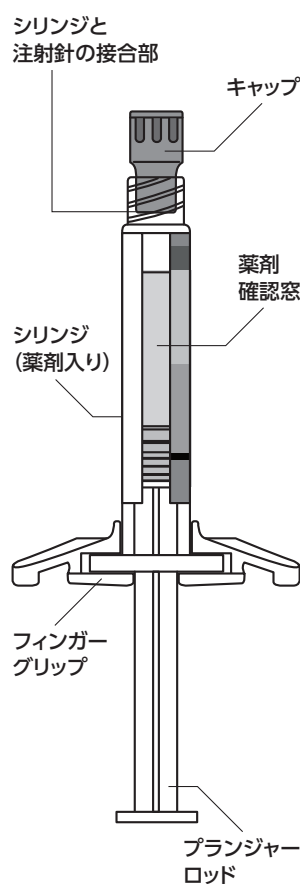


ゼプリオンTRI®の取扱い方法は動画でも
ご確認いただけます。二次元コードより
JanssenPro® (<https://www.janssenpro.jp/>)
にアクセスしてください。

【重要事項】

- ゼプリオンTRI®の投与は医療従事者が行うこと。
- ゼプリオンTRI®はパリペリドン4週間隔筋注製剤よりも長く激しい振盪を必要とする。シリンジの先端を上に向けた状態で、15秒以上シリンジを激しく振盪する(2:注射準備を参照)。
- ゼプリオンTRI®は、1回使い切りで投与すること。
- 分割して注射せず、1回で全量使い切ること。
- ゼプリオンTRI®は筋肉内のみに投与し、他の経路から投与しないこと。
- 筋肉の奥深くまでゆっくりと刺し、血管への注射を避けるように注意する。
- 投与前に電子添文をよく読むこと。

プレフィルド シリンジの部位

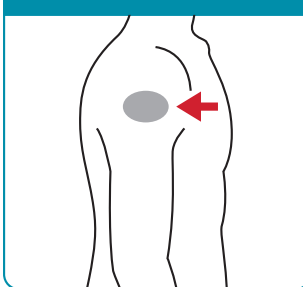


注意: 針は同梱されていない

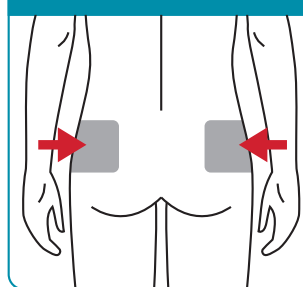
1 注射針の選択

注射部位と体重から、適切な注射針を選択する。

三角筋内へ投与する場合



臀部筋内へ投与する場合



【適切な注射針の太さ、長さ】

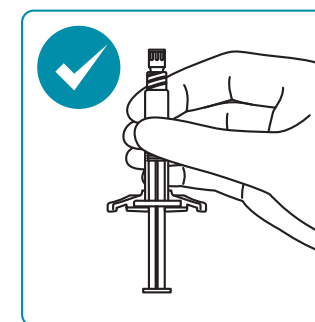
	三角筋		臀部筋
	体重90kg未満	体重90kg以上	
ゼプリオンTRI®	22G 1インチ (25mm)	22G 1½インチ (38mm)	22G 1½インチ (38mm)
パリペリドン4週間隔筋注製剤	23G 1インチ (25mm)	22G 1½インチ (38mm)	22G 1½インチ (38mm)

その他の準備する物

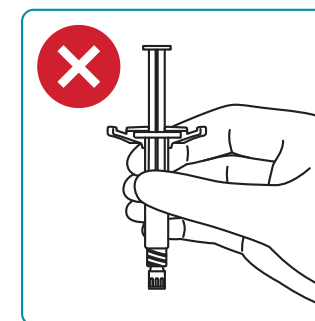
- アルコール消毒綿
- ガーゼ
- 絆創膏

2 注射準備

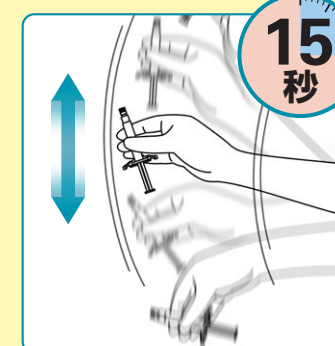
シリンジの持ち方



先端を上に向けてシリンジを持つ。



激しく振盪



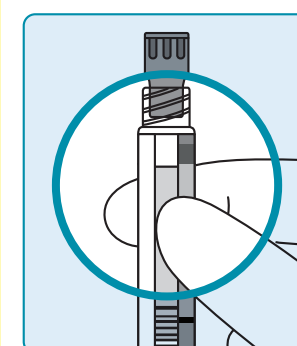
激しく振盪する
シリンジ内の懸濁液が均質となるよう、シリンジを15秒以上激しく振盪する。

振盪後5分以上経過した場合は、再度15秒以上激しく振盪する。

[パリペリドン4週間隔筋注製剤よりも長く激しく振盪する必要がある。]

注意
振盪操作が十分でないと(懸濁が不十分となり)全量投与ができないことがある。

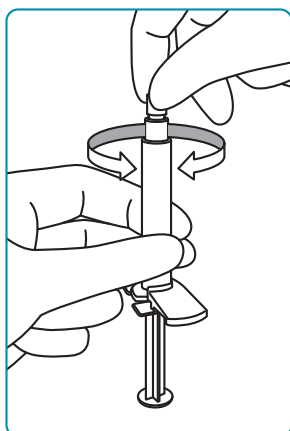
懸濁液の確認



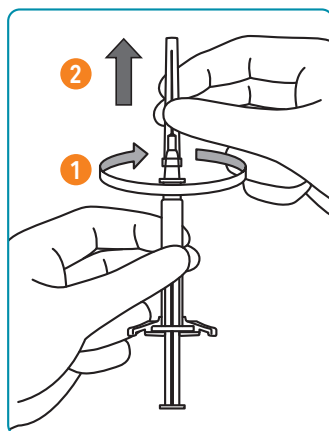
振盪後、均一な白色の懸濁液となっていることを薬剤確認窓から確認する。

注: 小さな気泡がみられることがあるが、問題ない。

3 注射準備

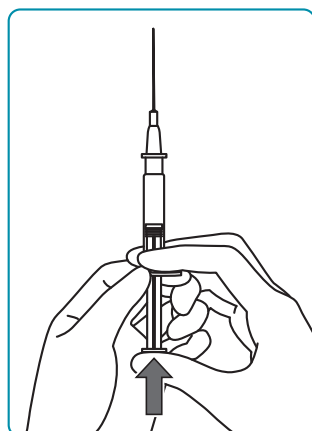


シリンジを上向きに持ち、キャップを回して取り外す。



- 1 シリンジの接合部に注射針を時計回りに回して取り付ける。
- 2 注射針のキャップをまっすぐ引いて取り外す。

注射針のキャップを取り外す際、回しながら取り外してしまうと注射針が外れてしまうため、注射針のキャップについてはまっすぐ引いて取り外すこと。

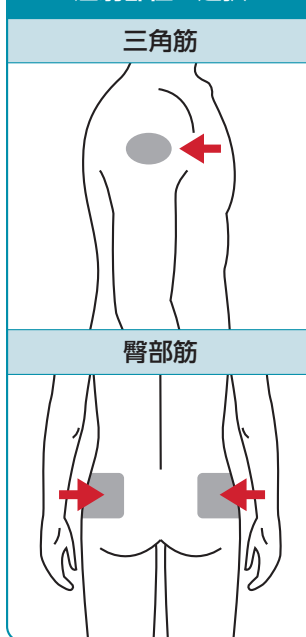


注射針を上に向けた状態でプランジャーロッドをゆっくり押し、シリンジから空気を抜く。

注: プランジャーロッドを押しにくい場合は、プランジャーロッドをゆっくり引き戻してからもう一度押す。

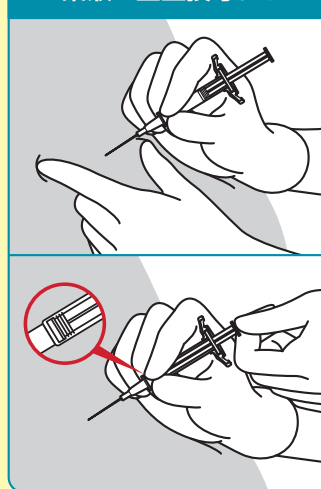
4 注射

注射部位の選択



アルコール消毒綿で注射部位をふき、自然乾燥させる。ゼプリオンTRI®は筋肉内のみに投与し、他の経路から投与しないこと。

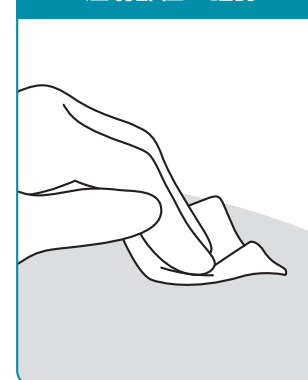
薬液を全量投与する



90°の角度で刺入する
皮膚を伸展し、選択した三角筋又は臀部筋内に深く垂直に刺入する。プランジャーロッドを軽くひき、血液の逆流としびれがないことを確認し、シリンジ内の薬液をゆっくり投与する。

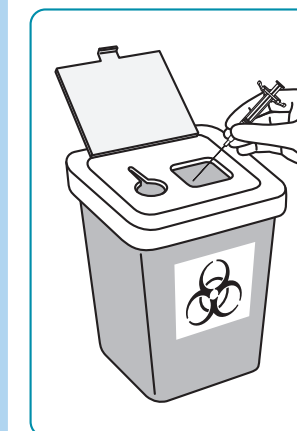
シリンジ内の全量を投与する
プランジャーロッドを最後まで押し、シリンジ内の薬液が全量投与できたかを確認する。その後、注射針を素早く抜く。

注射部位の確認



注射部位を確認する
注射部位をもみず、絞ったアルコール消毒綿(もしくは乾綿)で軽く押さえる。少量の出血や薬液が認められる場合は、しばらく押さえておく。注射部位の皮膚の変化やしびれ、激しい痛みがないか確認する。必要に応じて絆創膏を使用する。

5 注射後



注射完了後、注射針及びシリンジを安全に適切な方法で廃棄する。

投与時の注意

- (1) 他の注射液と混合又は希釈して使用しないこと。シリンジを15秒以上激しく振盪し、確実に懸濁させた後、5分以内にゼプリオンTRI®を投与すること。
- (2) 三角筋又は臀部筋のみに投与する。
- (3) 注射部位は毎回左右交互とし、同一部位への反復注射は行わないこと。
- (4) 選択した三角筋又は臀部筋内に深く垂直に刺し、シリンジ内の全量をゆっくり投与すること。
- (5) 注射部位をもまないように患者に指示すること。
- (6) 注射部位に疼痛、硬結をみることがある。

janssen ヤンセンファーマ株式会社
〒107-0063 東京都港区千代田3-3-2

JP501154BN
TRI-0018
TRILE009.4
2024年2月作成

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2020-2024